

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	3年 社会科（歴史的分野）	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4月 5月	近代国家の歩み と国際社会	明治政府による「近代化」の始まり	3	《指導内容》 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解させる。 ・日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。 ・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 《評価規準》 ①開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解している。 ①日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 ②工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②近代前半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	① ② ③	①社会科における基礎的・基本的な知識・技能が定着しているかを、評価する。 (単元テスト、小テスト、知識確認フォーム) ②社会的事象に対して、自分の考え方をまとめ、表現できるかを評価する。 (単元テスト、グループ活動、レポート) ③社会的事象に対して、主体的に追究しようとしている。 (授業の振り返り、単元テスト振り返り)
		近代国家の歩み	4			
		帝国主義と日本	4			
		アジアの強国の光と影	3			
5月 6月 7月	二度の世界大戦 と日本	第一次世界大戦と民族独立の動き	4	《指導内容》 ・国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて、欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。 ・大陸との関係をふまえて、日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・外交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・国際社会との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 ・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 ・戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代後半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現させる。 ・近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 《評価規準》 ①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動		
		高まるデモクラシーの意識	3			
		戦争に向かう世論	4			
		第二次世界大戦の惨禍	4			

7月 8月 9月	現在に続く日本と世界	敗戦から立ち直る日本 世界の多極化と日本の成長 これからの日本と世界	3 5 3	き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②近代後半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③近代後半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 《指導内容》 ・冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ・諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。 ・これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ・現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 《評価規準》 ①冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きのなかで新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ①高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。 ②諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ②これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。		
----------------	------------	--	---------------------	---	--	--